

よみ とく よみ て く

読得・読テク 合併号

読得 No.52 読テク No.12

新興国攻略が携帯電話事業成長のカギ

新興国の情報を紹介する「読得」、最新テクノロジーの情報を紹介する「読テク」では、これまでもたびたび携帯電話の普及について取り上げてきました。そこで今回は新興国の携帯電話市場をテーマにした合併号をお送りします。

新興国の携帯電話契約者数が急拡大

国際電気通信連合 (ITU) によると、2011年の世界の携帯電話契約者数は約60億人と推測されています。個別国で見ると新興国の伸びが著しく、中国は10億人、インドは9億人に間もなく達すると予測されています。(2011年11月現在 中国9.7億人 インド8.8億人)

また、アフリカ諸国の契約者数も近年急増しており、アフリカ最大の人口を有するナイジェリアでは2010年に約8,700万人(普及率55%)と、5年前と比較して約5倍の伸びを見せています。

予想されるさらなる市場拡大

日本の携帯電話普及率は90%を超えており、スマートフォンやLTEと呼ばれる次世代高速通信など、新商品や新サービスの話題でもちきりです。中国などの新興国でもスマートフォンの購入意欲が高まっているほか、高速通信サービスの導入も進んでおり、普及率の上昇と合わせて新商品やサービスの拡充による市場拡大が期待されています。携帯電話事業に関わる企業は、急拡大する新興国市場をどう攻略するかが大きな課題になりそうです。

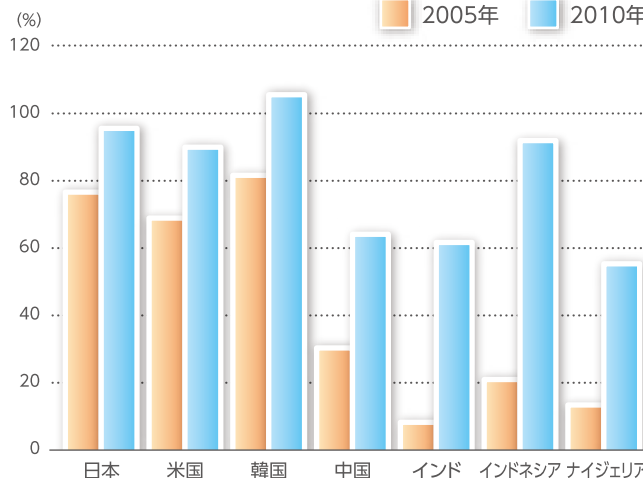
携帯電話契約者数 出所:ITU

(億人)

	日本	米国	韓国	中国	インド	インドネシア	ナイジェリア
2005年	1.0	2.0	0.4	3.9	0.9	0.5	0.2
2010年	1.2	2.8	0.5	8.6	7.5	2.2	0.9

※日本の2005年はPHSを含む

携帯電話普及率 出所:ITU



※日本の2005年はPHSを含む

LTEってなに?

LTE (Long Term Evolution)

3.9Gとも呼ばれる将来の4G導入をスムーズにするための通信規格のことで、今後世界的な導入が見込まれている。最新の3Gと比較しても20倍以上の通信速度を誇る。